

日本の財政健全化のための政策提言をしよう！

教科書出版社名（教育出版）

○ 中学校（ 3 ）年 教科等（ 社会 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

- ・政府が多額の財政赤字を抱えている理由を多面的・多角的に考察できる力
- ・現在の税制度や社会保障制度を正しく理解した上で、改善策を提案できる力
- ・「効率と公正」という見方・考え方を活用して課題を考察できる力

（学校図書館等の活用で付けたい力）

- ・課題解決につながる図書資料を自分で探し出し、正しく読み取る力
- ・根拠となるグラフ・数字を正しく読み取り、引用する力
- ・図書資料に加えて、インターネットや新聞など各々の媒体の特長をいかして情報を多面的・多角的に考察する力
- ・調べた情報を活用し、自分の考えをまとめる力

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…課題やその解決に必要な情報を、図書資料やタブレット端末を活用して収集する。
- 整理・分析…収集した情報をフィッシュボーン図で分類し、多面的・多角的に考察する。
- まとめ・表現・発信…収集・分類した情報を適切に活用し、提言書を作成する。
提言書をもとにプレゼンテーションで発表する。

○ 学習の展開（全10時間）（学校図書館を活用した時間は☆印）

第1次	単元の全体像をつかみ、現在の日本の財政状況を理解する。
第2次	金融のしくみと日本銀行の役割を理解する。
第3次	政府が行う経済活動の意義を理解する。
第4次	日本の税制度とその課題を理解する。
第5次	日本の社会保障制度を理解する。
第6次	社会保障制度を維持するために日本が抱えている課題を理解する。
第7次☆	日本の税制度を再点検し、増税の可能性を探る。
第8次	財政健全化についての提言書を作成する。
第9・10次	財政健全化についてのプレゼンテーションを実施する

(本時7 / 10時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい 日本の主要な税の特徴や課題などについて考える。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 本時の流れを理解する ・学校司書が調べ方の説明をする。	・調べ学習の時間を確保するために、本時の流れを予め板書し、端的に説明する。 ・活用する図書資料の特徴を学校司書が説明する。
25	2. 担当する税について調べる ・事前に決めた税(消費税・所得税・法人税)を、一班につき一つ担当する。 ・それぞれの税のメリット、デメリット、制度や税収額の変化などの特徴について調べる。 ・調べたことを「情報カード」にまとめていく。 ・必要な資料・文章を見つけた際は、適切に引用・要約する。参考文献も奥付をみて正確に記載する。 ・引用したい資料があった場合は、タブレットで撮影し、ロイポートでカード化して添付する。	・調べる手段として、図書資料・ウェブサイト、新聞があり、特長に応じて使い分けるよう指導する。 ・必要な情報を見つける手立てとして、関連図書コーナーを設置しておく。 ・適切に引用・要約ができていないか確認する。
10	3. 調べた情報を共有・分類する ・シンキングツール「フィッシュボーン図」を活用し、班長のタブレット端末で「情報カード」をテーマ別に分類しながら、調べた税についての理解を深める。 ・完成したフィッシュボーン図を教員に提出する。	・情報カードに応じてテーマ設定させる。 ・分類が適切に行われているか確認する。
10	4. 調べた内容を発表する ・フィッシュボーン図を提示しながら発表する。 ・フィッシュボーン図から読み取れる税の特徴や分類作業を進めた中で見えてきた課題などを端的に発表する。	・一班を指名し、全体を代表して発表させる。

図書館活用
ポイント

○参考資料（ロイロノートで生徒に配付）

三つの税の基本情報

（「公民基本用語集」より引用）

消費税

商品・サービスを購入する際にかけられる税金

所得税

個人の所得にかける税金

法人税

会社などの法人の所得（利益）にかける税金

〇〇税 情報カード

税の特徴

出典：

